

作成日 2026 年 6 月 9 日
(最終更新日 2026 年 6 月 9 日)

「情報公開文書」(Web ページ掲載用)

受付番号: 2026-1-270

課題名: 地域小児一次救急施設における運用データを用いた
二次転送リスク評価と過密時間帯予測に関する疫学研究

1. 研究の対象

臨床研究において、対象となる方が「自分のデータがどのように使われるのか」を正しく知り、納得できる状態を整えることは、医療の透明性と信頼性を守るための大切なステップです。本研究では、以下の期間に下記対象施設を受診された方を対象としています。

- 対象期間: 2019 年度(2019 年 4 月 1 日)から 2025 年度(2026 年 3 月 31 日)まで
- 対象施設: 仙台市夜間休日こども急病診療所
- 対象となる方: 上記の期間中に、上記対象施設の小児科を受診されたすべての患者さん

次のセクションでは、この貴重なデータを分析し、研究成果としてまとめるために設定された実施期間についてご説明します。

2. 研究期間

研究期間をあらかじめ定めることは、倫理委員会の承認を受けた範囲内で適正に研究が行われることを保証するための法的・倫理的なルールです。本研究は、過去のデータの詳細な解析と成果の公表を含め、以下の期間で実施いたします。

- 実施期間: 2026 年 7 月から 2028 年 3 月 31 日まで

解析作業が完了し、社会に役立つ知見としてまとめられるまで、厳重な管理のもとで研究を継続します。次に、これらのデータが実際に研究に利用され始める具体的な日程についてお伝えします。

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

研究対象者の方々には、ご自身のデータが研究に利用されることを拒否する権利(オプトアウト)が保障されています。この権利を適切に行使できるよう、文書の公開から一定の猶予期間を設けた上で解析を開始します。

- 利用開始予定日: 2026 年 7 月 15 日

外部提供の予定: 該当なし

4. 研究目的

夜間や休日の子どもの急病に対応する「小児一次救急」は、地域の安心を支える重要な存在です。この研究は、救急現場の「混雑」を事前に予測し、より安全でスムーズな医療を提供できる体制をつくることを目的としています。

- 研究の背景(私たちの役割): 仙台市救急医療事業団・仙台市夜間休日こども急病診療所は、多くのお子さんを幅広く受け入れる「地域の守り神(セーフティネット)」としての機能と、

入院が必要な重症のお子さんを見極めて大きな病院へつなぐ「交通整理(トリアージ)」の機能を担っています。

- 研究の核心(受付時点の情報活用)：医師の診断が出る前、つまり「受付をした瞬間」にわかる情報(年齢、お住まいの地域、現在の流行状況など)だけで、その日の混雑や重症度を予測できるかどうか挑戦します。
- 注目するポイント(インフルエンザの矛盾)：インフルエンザが流行するとセンターは非常に混み合いますが、実は「大きな病院への転送が必要な重症者」の割合は低くなる傾向があります。つまり、混雑の正体が「軽症の集中」なのか「重症の増加」なのかを事前に見極めることで、適切なスタッフ配置や待ち時間の短縮に繋がる可能性があります。
- 社会への貢献：この予測が可能になれば、混雑が予想される日にあらかじめ準備を整えるなど、地域全体の救急医療の質を高めるヒントが得られます。

この目的を達成するための具体的な調査方法について、次のセクションで説明します。

5. 研究方法

本研究は、患者さんに新たな検査やアンケートをお願いするものではありません。過去の診療記録を振り返って分析する「後方視的観察研究」という手法を用います。

- 調査と解析のプロセス：
 - 2019年から2025年までの診療記録を、個人が特定できない形に整えて収集します。
 - どのような特徴を持つ患者さんが大きな病院への転院(二次転送)を必要としたか、その「傾向(パターン)」を統計学的に分析します。
 - 地域の感染症の流行データや天候データと照らし合わせ、混雑が発生する条件を明らかにします。

次に、この調査で具体的にどのような種類の情報が利用されるのかを一覧でお示します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

プライバシーを保護し、情報の透明性を確保するため、本研究で利用するデータの項目を公開いたします。これらはすべて、個人が直接特定されない形に加工して利用されます。

- 受診に関する情報：受診日、受付時刻、診療時間帯、二次転送(大きな病院への紹介)の有無、紹介先
- 患者さんの基本情報：年齢、性別、居住地区、仙台市夜間休日こども急病診療所までの推定距離
- 外的要因に関する情報：地域の感染症発生状況(インフルエンザ報告数等)、気象データ(気温、降水量、降雪の有無等)

以上の項目等を用いて解析を行います。

7. 外部への試料・情報の提供

本研究は東北大学で行われます。仙台市救急医療事業団からのデータの受け渡しにあたっては、情報の漏えいを防ぎ、個人のプライバシーを死守するための厳格な対策を講じています。

- 仮名化(かめいか)の実施：氏名や住所の番地など、特定の個人を直接識別できる情報を削除し、代わりに研究用の番号を付与します。これを「仮名化」と呼び、誰の情報か分からない状態で東北大学へ電子的配信等の安全な方法で提供します。
- 管理責任：「研究用番号」と「ご本人」を結びつけるための対応表は、仙台市救急医療事業団の責任者が厳重に保管・管理し、外部に漏れることは一切ありません。
本研究を遂行する具体的な組織体制は以下の通りです。

8. 研究組織

研究の責任所在を明確にし、誠実に研究を遂行するための体制を整えています。

- 研究責任者：
 - 東北大学大学院医学系研究科:大田 千晴

次に、研究の公平性を担保するための利益相反管理について説明します。

9. 利益相反(企業等との利害関係)について

研究の誠実性と透明性を保証するため、経済的な利害関係を明らかにします。

- 研究資金：本研究は、特定の企業からの援助ではなく、公的な「運営費交付金」等の範囲内で実施されます。
- 利害関係の公開：本研究の実施にあたって、公正な判断を損なうような企業等との経済的な利害関係(利益相反)はありません。

最後に、対象者としての権利(利用拒否の申し出)やお問い合わせ先についてご案内します。

10. お問い合わせ先および個人情報の開示手続

本研究の対象となる方(またはそのご家族)には、ご自身のデータが利用されることを拒否する権利があります。利用を希望されない場合は、以下の窓口までご連絡ください。拒否のお申し出があっても、以後の診療等で不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ・拒否のお申し出先(当機関における照会先)】

- 担当者: 大田 千晴
- 所属: 東北大学大学院医学系研究科発達環境医学分野
- 住所: 〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵 2-1
- 連絡先: 022-717-8949
- 研究責任者: 大田 千晴
-

【個人情報の開示、訂正、利用停止の請求について】

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。本学の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合